

# 進路相談員だよ！

第6号（教職員向け）  
令和6年10月10日発行  
北海道教育庁根室教育局

## キャリア教育とは

- 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通じて、キャリア発達を促す教育です。

## キャリアとは

- 人は、他者や社会との関わりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。このように、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねをキャリアといいます。
- このキャリアは、ある年齢に達すると自然に獲得されるものではなく、子ども・若者の発達の段階や発達課題の達成と深く関わりながら段階を追って発達していくものです。
- また、その発達を促すには、外部からの組織的・体系的な働きかけが不可欠であり、学校教育では、社会人・職業人として自立していくために必要な基盤となる能力や態度を育成することを通じて、一人一人の発達を促していくことが必要です。

## キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力

- 人間関係形成・社会形成能力**  
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力です。
- 自己理解・自己管理能力**  
自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力です。
- 課題対応能力**  
仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力です。
- キャリアプランニング能力**  
「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力です。

## キャリア教育推進のお手伝いをします!!

- 将来の生き方や進路について考えるために、「自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習」、「進学にかかる費用や奨学金についての情報」、「社会全体のグローバル化（国際化）の動向についての学習」、「社会人・職業人としての常識やマナーについての学習」、「就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応についての学習」、「転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みについての学習」等の指導を高校生の頃にもっとしてほしかったという調査結果（注）があります。

（注）「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」（国立教育政策研究所）平成24年10月上旬～11月中旬に実施。

- 「後の祭り」とならないためにも、これらのキャリア教育や指導を進めてください。また、**キャリアプランニングスーパーバイザーを活用**いただき、カウンセリングはもとより、キャリア教育に必要な講話等の聴講機会を多数設けて、キャリア教育の充実を図ってください。

\*キャリアプランニングスーパーバイザー 要請連絡先 根室教育局 ☎0153-23-6933